

令和4年5月10日

保護者の皆様へ

小林市立野尻小学校
校長 柏木 賢

新型コロナウイルス感染症に児童が感染した場合の学校の対応について

今週に入り、一部の学年を中心に欠席者が増えたことで、不安な気持ちになっておられる保護者の方々がいらっしゃると思います。このことに関する学校への問い合わせも出てきました。そこで、標記についての学校の対応等について改めてご説明致します。

1 感染した児童の情報について

- 本校児童に感染があった場合、個人の情報については、一切、お伝えすることはできません。市教育委員会の方針であると同時に、人権上の配慮です。ご理解ください。

2 児童やご家族が感染した場合について

- 発熱等の症状で、病院を受診され、PCR検査を受けた結果「陽性」が出た場合、保健所と連絡をとり、自宅療養等の日数の指示が出されます。
- お子様が発性となった場合、ご家族（兄弟姉妹）は濃厚接触者となり、保健所の指示のもとに、自宅待機となります。
- 同居のご家族が発性者となった場合は、児童は濃厚接触者になり、保健所の指示のもとに、自宅待機となります。

3 児童が感染した場合の学校の対応について

- 市のチェックリストに沿って、学校内での濃厚接触者の有無を確かめます。

- ・ 陽性者がマスク無し、または、お互いにマスク無しで、手が触れる距離（1m程度）で、15分以上会話した。
- ・ 陽性者はマスクをしていたが、接触者がマスク無しで、手が触れる距離（1m程度）で、1時間以上会話をした。
- ・ 給食を食べているとき、陽性者と接触者が2人ともマスク無しで15分以上会話した。

※ 上記項目があてはまり、校内で濃厚接触者が特定された場合、市教育委員会に報告し、濃厚接触者に学校から連絡がいきます。

- 学校行事や授業等について

感染者が広がらないようにするために、これまでの感染症防止対策を十分行った上で、さらに次の対応をいたします。

- ・ 集会活動等を行う際は、児童を集めず、校内放送やリモートで行います。
- ・ 授業は児童同士が近距離で行う学習活動や異学年が交わるような交流活動を控えます。
- ・ 感染が出た学級は給食時、教室を分け、少ない人数で飲食できるようにします。
- ・ 全学年歯磨きを中止し、飛沫が飛ばないようにソーシャルディスタンスを保って静かにうがいのみさせるようにします。

4 学級閉鎖、臨時休業等について

- 感染者数や濃厚接触者数の拡大状況により、市教育委員会と協議し、決定します。

5 陽性となって学校を休んだ児童への配付物の受け渡し

- 基本的な考え方

- ・ 必要がある場合は、原則として、どなたかに学校に取りに来ていただきます。
(新型コロナウイルス感染症に関連するもの場合には、近隣の児童に届けさせたりすることはできません。)
- ・ 但し、以下に該当する方の来校は控えていただきます。

- ・ **新型コロナウイルスに感染(陽性者)または濃厚接触者となっている方**
医療機関等から指示された自宅待機等の期間が終了するまではお控えいただきます。
- ・ **同居家族が新型コロナウイルスに感染している方**
医療機関等が当該ご家族に指示した自宅待機等の期間が終了するまではお控えいただきます。
- ・ **同居家族に発熱や風邪様の症状がある方**
当該ご家族が医師に相談または医療機関を受診し、新型コロナウイルスに起因するものでないと診断されるまではお控えいただきます。

- ・ 上記の理由により保護者等の家族が来校できない場合は、近親者等(同居していない祖父母等)による受け取りの代行を検討いただきます。

- 上記の「どの方法も困難な場合」に配付する方法

- ・ 例) ドライブスルー方式

駐車場に着いたら電話をいただく。



パターン1：職員が車まで行って手交する。

※ 状況によっては「手袋」「フェイスシールド」「防護服」を着用

パターン2：無接触で受け渡す。

※ ①来客用玄関前に机を設置する。

※ ②電話を受けたら机の中に配付物を置く。

※ ③来校者が車を降りて机の中の配付物を受け取る。

6 欠席等の取り扱い

- 児童が陽性、濃厚接触、風邪様症状、ワクチン接種及びその副反応等の場合は、「出席停止」として取り扱います。
- このほか、「濃厚接触者となる危険性が高い場合」までを合理的な理由と判断し、「出席停止」として取り扱います。
- 「一般的な不安感等」によると解される場合は、「事故欠席」として取り扱います。
- 風邪症状で休んでいた者が、医師に相談または医療機関を受診し、新型コロナウイルスに起因するものでないと診断された場合は、「病欠」となります。

7 最後に

学校において欠席者が増えると、従前より、うわさや不確定な情報のやりとりがあると指摘されており、学校としましても、子どもたちの心に影響がないよう最大限の注意を払うようにしております。子どもたちには、うわさや間違った情報に流されず、人の立場や思いを自分におきかえて考え行動できる人に育ってほしいとの願いを、今後も学校と保護者の皆様でしっかりと共有し、大切にしていきたいと思っております。

私たちが、今取り組むべきことは、一人一人が自分の学校や家庭での生活について振り返り、これまで以上に対策をしっかりと実行していくことです。

いかなる状況に至った場合でも、当事者及びご家族の立場や心情に寄り添うとともに、回復後も、一切の偏見や差別等が生じないよう引き続き協力ください。